

現代の国語

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	6	1（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
新編現代の国語（東京書籍）					
学習目標					
実社会における国語による諸活動に必要な資質・能力の育成をする。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1 自己を見つめる 随想「ルリボシカミキリの青」	① 放送視聴	①	7 世界とつながる 評論「美しさの発見」		⑤
2 他者に出会う 評論「未来をつくる想像力」		②	8 未来に目を向ける 評論「真の自立とは」		⑥
3 言葉と生活 1					
4 視野を広げる 随想「鍋洗いの日々」		④			
5 社会と関わる 評論「無彩の色」		③			
6 言葉と生活 2					
学習方法					
【レポート】 教科書に沿った内容になっています。該当のページは指定してありますので、その部分をよく読み、理解した上で解答してください。					
【授業】 レポートの内容に沿って授業を進めていきます。レポートの作成に役立ちますので、積極的に出席しましょう。授業中はしっかり話を聞いて、必要な箇所はメモを取りましょう。					
【試験】 試験には、レポートの学習内容を確認する問題を出しますので、レポートをよく見直して臨んでください。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 評価は次の観点で行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を身に付けている。主張と論拠など情報と情報との関係や推論の仕方を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。		

言語文化

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択科目	2	6	1（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
新編言語文化（東京書籍）					
学習目標					
上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
現代文編 短歌「柳をあをめる」	① 放送視聴	①	古文編 随筆「奥山に、猫またといふものありて」		③
現代文編 俳句「雪の深さを」			現代文編 小説「羅生門」		④
現代文編 詩「冬が来た」			漢文編 漢文入門「訓読の基本」		⑤
古文編 古文入門「古文の言葉と仮名遣い」		②	漢文編 故事成語「守株」		⑥
古文編 古文入門「児のそら寝」			漢文編 故事成語「五十歩百歩」		
古文編 古文入門「古文に親しむ」		③	漢文編 故事成語「借虎威」		
学習方法					
【レポート】 教科書に沿った内容になっています。該当のページは指定してありますので、その部分をよく読み、理解した上で解答してください。					
【授業】 レポートの内容に沿って授業を進めていきます。レポートの作成に役立ちますので、積極的に出席しましょう。授業中はしっかり話を聞いて、必要な箇所はメモを取りましょう。					
【試験】 試験には、レポートの学習内容を確認する問題を出しますので、レポートをよく見直して臨んでください。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 評価は次の観点で行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。また、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。		

論理国語

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択科目	4	12	2（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
新編論理国語（東京書籍）					
学習目標					
共通必修科目により育成された資質・能力を基盤とし、主として「思考力・判断力・表現力等」の創造的・論理的思考の側面の力を育成する科目として、実社会において必要となる、論理的に書いたり批判的に読んだりする資質・能力を育成する。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1 広がる世界 「対話とは何か」	① 放送視聴	①	3 科学と人間 「鏡としてのアンドロイド」	② 放送視聴	⑨
2 考える手がかり 「『ふしぎ』ということ」		②	4 豊かな認識 「科学的『発見』とは」		⑩
3 人間と知性 「学ぶことと人間の知恵」		③	5 知のゆくえ 「もう一つの知性」		⑪
4 現実の中で 「安心について」		④	6 明日をみつめて 「未来のありか」		⑫
5 ものの見方 「複数の『わたし』」		⑤			
6 働くよろこび 「楽に働くこと、楽しく働くこと」		⑥			
1 時代をひらく 「最初のペンギン」	② 放送視聴	⑦			
2 新しい視点から 「カフェの開店準備」		⑧			
学習方法					
【レポート】 教科書に沿った内容になっています。該当のページは指定してありますので、その部分をよく読み、理解した上で解答してください。					
【授業】 レポートの内容に沿って授業を進めていきます。レポートの作成に役立ちますので、積極的に出席しましょう。授業中はしっかり話を聞いて、必要な箇所はメモを取りましょう。					
【試験】 試験には、レポートの学習内容を確認する問題を出しますので、レポートをよく見直して臨んでください。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 評価は次の観点で行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を身に付けている。また、文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方を理解している。	多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすることができる。また、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈することができる。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。		

文学国語

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択科目	4	12	2（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
文学国語（東京書籍）					
学習目標					
共通必修科目により育成された資質・能力を基盤とし、主として「思考力、判断力、表現力等」の感性・情緒の側面の力を育成する科目として、深く共感したり豊かに想像したりして、書いたり読んだりする資質・能力を育成する					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
[Ⅰ部] 1 随筆	① 放送視聴	①	7 評論	②	⑪
2 小説 1		④	8 小説 3	放送視聴	⑫
3 評論 1					
4 小説 2		②			
5 詩歌		⑤			
6 小説 3					
7 評論 2		③			
8 小説 4		⑥			
[Ⅱ部] 1 随筆 1	② 放送視聴	⑦			
2 小説 1		⑧			
3 詩歌		⑨			
4 随筆 2		⑩			
5 戯曲					
6 小説 2					
学習方法					
【レポート】 教科書に沿った内容になっています。該当のページは指定してありますので、その部分をよく読み、理解した上で解答してください。					
【授業】 レポートの内容に沿って授業を進めていきます。レポートの作成に役立ちますので、積極的に出席しましょう。授業中はしっかり話を聞いて、必要な箇所はメモを取りましょう。					
【試験】 試験には、レポートの学習内容を確認する問題を出しますので、レポートをよく見直して臨んでください。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 評価は次の観点で行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
情景の豊かさや心情の機微を表す語句や修辞などの表現の技法を理解している。また、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用を理解している。	読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫することができる。また、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができる。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。		

古典探究

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数			
選択科目	4	12	2（放送視聴）	2			
教科書			学習書・副教材等				
新編古典探究（東京書籍）							
学習目標							
「伝統的な言語文化に関する理解」をより深めるため、ジャンルとしての古典を学習対象とし、古典を主体的に読み深めることを通して伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解する。							
学習内容及びスクーリング対応回数							
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート		
古文編 1部	① 放送視聴	①	6 俳諧に親しむ	② 放送視聴			
1 説話に親しむ			7 伝承の世界				
2 随筆を読む		②	漢文編 1部				
3 作り物語を読む		③	1 故事と小話				
4 和歌の世界			2 唐詩と文		⑨		
5 日記を読む		④	3 史記を読む				
6 軍記物語を味わう		⑤	4 中国の知恵		⑩		
7 近世文学の世界			5 三国志の世界				
古文編 2部		② 放送視聴	⑥		漢文編 2部	② 放送視聴	⑪
1 随筆を味わう					1 小話を読む		
2 歌物語を楽しむ	⑦		2 古詩を味わう				
3 歴史物語を読む			3 史記を味わう				
4 歌話・歌論を読む			4 中国の思想	⑫			
5 作り物語を味わう	⑧	5 日本の漢文					
学習方法							
【レポート】 教科書に沿った内容になっています。該当のページは指定してありますので、その部分をよく読み、理解した上で解答してください。 【授業】 レポートの内容に沿って授業を進めていきます。レポートの作成に役立ちますので、積極的に出席しましょう。授業中はしっかり話を聞いて、必要な箇所はメモを取りましょう。 【試験】 試験には、レポートの学習内容を確認する問題を出しますので、レポートをよく見直して臨んでください。							
評価方法							
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 評価は次の観点で行います。							
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色を理解している。我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係を理解している。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深めることができる。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。				

聞く・書く・話す

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択科目	4	12	4	2	
教科書			学習書・副教材等		
聞く・書く・話す（わせがく）					
学習目標					
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
第一編聞くこと	①②	①	第三編話すこと	③④	⑨
第二章インタビューする時の心得			第二章報告		
第三章スピーチの聞き方			第三章効果的な話し方		
第二編書くこと		②③	第四章スピーチ・発表		⑩
第二章正しい表現		④	第五章敬語		
第三章文章		⑤	第六章面接の受け方		
第四章原稿用紙の使い方		⑥	第四編伝え合うこと		⑪
第五章記録文・報告文			第二章会話		
第六章レポート			第三章電話		
第七章小論文		③④	⑦		第四章司会
第八章文章推敲のポイント	第五章ディベート				
第九章実用文	⑧		第六章会議		
第十章自己推薦書の書き方			第七章討論		
第十一章履歴書の書き方			第八章 インターネット上のコミュニケーション		
学習方法					
【レポート】 教科書に沿った内容になっています。該当のページは指定してありますので、その部分をよく読み、理解した上で解答してください。					
【授業】 レポートの内容に沿って授業を進めていきます。レポートの作成に役立ちますので、積極的に出席しましょう。授業中はしっかり話を聞いて、必要な箇所はメモを取りましょう。					
【試験】 試験には、レポートの学習内容を確認する問題を出しますので、レポートをよく見直して臨んでください。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 評価は次の観点で行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	受け取り手の共感が得られるよう、適切な具体例を効果的に配置するなど、文章の構成や話の展開を工夫することができる。また、状況に応じて適切な文書の作成ができる。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。		

地理総合

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択必修科目	2	6	1(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
地理総合(東京書籍)					
学習目標					
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界	① 放送視聴	①	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災	① 放送視聴	④⑤
第2章 地図や地理情報システムの役割		①	第2章 生活圏の調査と地域の展望		⑥
第3章 資料から読み取る現代世界		①			
第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境		②			
第2章 さまざまな地球的課題と国際協力		③			
学習方法					
【レポート】 人間が自然環境にどのように適応し、地域独自の営みにはどのようなものがあるか学んでいきます。教科書・地図帳を最大限に活用し、日本や世界の地理的事象を学習し、地理的な見方や考え方を身に付けてください。 【授業】 レポートの内容に沿った、学習を補助するためのプリントを使用し授業を進めます。教科書だけではわからない様々な側面からレポートの内容を説明するので、より深い理解を目指しましょう。 【試験】 レポートの内容から出題します。教科書や解答などを参考にしっかり学習しましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度			
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			

地理探究

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数		
選択必修科目	3	9	2(放送視聴)	2		
教科書			学習書・副教材等			
地理探究(東京書籍)						
学習目標						
地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付けます。選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付けます。						
学習内容及びスクーリング対応回数						
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート	
第1編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節 世界の地形 2節 気候と自然環境 3節 気候と人々の生活	① 放送視聴	①	第4章 人口・部落・都市 1節 人口 2節 人口問題 3節 部落・都市 4節 居住・都市問題	② 放送視聴	⑤	
4節 日本の自然環境と自然災害 5節 世界の環境問題 第2章 産業と資源 1節 産業の発展と社会的分業 2節 農林水産業 3節 食糧問題		②	第5章 生活文化、民族・宗教 1節 生活文化の地域性 2節 民族・言語・宗教 3節 民族問題 4節 現代の国家と領土問題		⑥	
4節 工業の立地と工業地域の変容 5節 資源・エネルギー問題 6節 グローバル化と私たち 7節 第三次産業		③	第2編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分の意義と方法 第2章 現代世界の諸地域 1節 東アジア 2節 東南アジア 3節 南アジア 4節 西アジアと中央アジア		⑦	
第3章 交通・通信、貿易、観光 1節 交通・通信 2節 貿易と経済連携 3節 観光		④	5節 北アフリカとサハラ以南アフリカ 6節 ヨーロッパ 7節 ロシア 8節 アングロアメリカ 9節 ラテンアメリカ 10節 オセアニア		⑧	
			第3編 現代世界と日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1節 日本の地誌的諸問題を読み解く 2節 持続可能な国土像の探究		⑨	
学習方法						
【レポート】 教科書をよく読むと解答できる設問になっています。また、本文だけでなく欄外などからも出題するので、丁寧に読んで理解し、解答しましょう。 【授業】 レポートの内容に沿った、学習を補助するためのプリントを使用し授業を進めます。教科書だけではわからない様々な側面からレポートの内容を説明するので、より深い理解を目指しましょう。 【試験】 レポートの内容から出題します。教科書や解答などを参考にしっかり学習しましょう。						
評価方法						
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。						
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度				
地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因について理解することで、現代世界の諸事象の地理的認識を深めている。地図や地理情報システムなどの読み取りを通して、世界諸地域の特性とそこで発生する諸課題について理解することで、現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。	地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。地理的な課題への多面的・多角的な考察や深い理解を通して市民としての自覚を持つとともに、社会へ参画することへの意識が高まっている。				

歴史総合

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席回数	試験回数		
選択必修科目	2	6	1(放送視聴)	2		
教科書			学習書・副教材等			
歴史総合 新選歴史総合(東京書籍)						
学習目標						
日本の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、日本の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。						
学習内容及びスクーリング対応回数						
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート	
第1章 歴史の扉1節 歴史と私たち	① 放送視聴	①	2節 第一次世界大戦と大衆社会	① 放送視聴	③	
2節 歴史の特質と資料		①	3節 経済危機と第二次世界大戦		④	
第2章 近代化と私たち1節 近代化への問い		①	4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題		④	
2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成		①	第4章 グローバル化と私たち1節 グローバル化への問い		⑤	
3節 世界の一体化と多様な近代化		②	2節 冷戦と世界経済		⑤	
4節 近代化と現代的な諸課題		②	3節 世界秩序の変容と日本		⑥	
第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち1節 国際秩序の変化や大衆化への問い		③	4節 現代的な諸課題の形成と展望		⑥	
学習方法						
【レポート】 教科書をよく読むと解答できる設問になっています。また、本文だけでなく欄外などからも出題するので、丁寧に読んで理解し、解答してください。 【授業】 授業では各回のレポートを解説します。 【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出題します。						
評価方法						
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。						
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に取り組む態度			
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。		近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 (近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。)			

日本史探究

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択必修科目	3	9	2(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
日本史探究(東京書籍)					
学習目標					
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開 1節 律令国家の形成と古代文化の展開	① 放送視聴	①	第3編 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立 2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	② 放送視聴	⑤
2節 摂関政治と貴族文化 第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望		②	第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 第2章 歴史資料と近現代の展望 第3章 近現代社会の展望 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係		⑥
第3章 中世社会の展開 1節 武家政権の成立と朝廷 2節 武家支配の広がりとの国際交流		③	3節 両大戦期間の日本		⑦
第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望		④	5節 占領と改革 6節 国際社会への復帰と高度経済成長		⑧
			7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 8節 新しい国際秩序と日本の課題		⑨
学習方法					
【レポート】 教科書をよく読むと解答できる設問になっています。また、本文だけでなく欄外などからも出題するので、丁寧に読んで理解し、解答しましょう。 【授業】 レポートの内容に沿った、学習を補助するためのプリントを使用し授業を進めます。教科書だけではわからない様々な側面からレポートの内容を説明するので、より深い理解を目指しましょう。 【試験】 レポートの内容から出題します。教科書や解答などを参考にしっかり学習しましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度			
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。			

世界史探究

2026年度					
履修区分	単位数		レポート提出回数	面接指導出席回数	試験回数
選択必修科目	3		9	2(放送視聴)	2
教科書			学習書・副教材等		
世界史探究(東京書籍)					
学習目標					
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺	① 放送視聴	①	第12章 ユーラシア諸帝国の繁栄 第13章 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	② 放送視聴	⑤
第3章 南アジア 第4章 東南アジア 第5章 東アジアとニュージーランド 第6章 アフリカ、オセアニア、古アメリカ		②	第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成 第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容		⑥
第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄 第8章 中世ヨーロッパ		③	第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 第17章 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦		⑦
第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 第10章 インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章 大交易時代と世界の一体化		④	第19章 第二次世界大戦と戦後の東アジア 第20章 冷戦の世界化と国際制度		⑧
			第21章 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 第22章 21世紀の地球的課題と人類社会		⑨
学習方法					
【レポート】 教科書をよく読むと解答できる設問になっています。また、本文だけでなく欄外などからも出題するので、丁寧に読んで理解し、解答しましょう。 【授業】 レポートの内容に沿った、学習を補助するためのプリントを使用し授業を進めます。教科書だけではわからない様々な側面からレポートの内容を説明するので、より深い理解を目指しましょう。 【試験】 レポートの内容から出題します。教科書や解答などを参考にしっかり学習しましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に取り組む態度		
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解している。 諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。		

地理歴史実習

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択必修科目	2	6	2	1	
教科書			学習書・副教材等		
学習目標					
夢育短期留学を通して、現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地理的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる人としての自覚と資質を養う。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
オーストラリアの先住民について	①	①	オーストラリアのオペラハウスについて	②	④
オーストラリアのグレートバリアリーフ・ウルルについて		②	オーストラリアの動物について		⑤
オーストラリアの経済について		③	アデレードについて、気候/地理など		⑥
学習方法					
【レポート】 人間が自然環境にどのように適応し、地域独自の営みにはどのようなものがあるか学んでいきます。夢育短期留学を通して、日本や世界の地理的事象を学習し、地理的な見方や考え方を身に付けてください。 【授業】 レポートの内容に沿った、学習を補助するためのプリントを使用し授業を進めます。夢育短期留学を通して、レポートの内容を説明するので、より深い理解を目指しましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況とテストを総合して評価します。 評価は次の観点で行います。					
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度			
地理的事象に関する諸資料を収集し、適切に選択してレポートを作成している。	地理的事象から課題を見出し、生活・文化の地域的特色を考察しながら、レポートを作成している。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。			

公共

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	6	1(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
公共(東京書籍)					
学習目標					
学習を通して、広い視野を持ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
第1部 公共のとびら 第1章 青年期を生きる私たち 第2章 他者とともに生きる人間としてのあり方 第3章 公共的な空間における倫理 第4章 公共的な空間における基本的原理	① 放送視聴	①	第3章 経済社会で生きる私たち テーマ5 現代の経済と市場 テーマ6 市場経済における金融の働き テーマ7 財政の役割と持続可能な社会保障制度	① 放送視聴	④
第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち テーマ1 民主政治と政治参加		②	第4章 私たちの職業生活 テーマ8 働くことの意義と職業選択 テーマ9 労働者の権利と雇用・労働問題 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ10 国際社会のルールとしくみ テーマ11 国際社会と平和主義		⑤
第2章 法の働きと私たち テーマ2 法や規範の意義と役割 テーマ3 市民生活と私法 テーマ4 国民の司法参加		③	テーマ12 国際平和への課題 テーマ13 グローバル化する国際経済 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために		⑥
学習方法					
【レポート】 教科書をよく読むと解答できる設問になっています。 また、本文だけでなく欄外などからも出題するので、丁寧に読んで理解し、解答してください。					
【授業】 授業では各回のレポートを解説します。					
【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出題します。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめ、レポートを作成している。	諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを表現し、レポートを作成している。		知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、計画的にレポートを作成している。		

倫理

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	6	1（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
倫理(東京書籍)					
学習目標					
より良い生き方とは何かを、自分とは何か、人間とは何か、といった問いにまでさかのぼって考えることを目指す。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
第1章 人間の心のあり方 1節 人間とは何か 2節 人間の心の働き 第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 1節 哲学すること	① 放送視聴	①	6節 人間観・言語観の問いなおし 7節 他者・自然とのかかわり 第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土	② 放送視聴	④
3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想		②	2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化		⑤
第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想		③	7節 国際社会に生きる日本人の自覚 第2編 現代の諸課題と倫理 1節 生命 2節 自然 3節 科学技術 4節 福祉 5節 文化と宗教 6節 戦争と平和		⑥
学習方法					
【レポート】 教科書をよく読むと解答できる設問になっています。 また、本文だけでなく欄外などからも出題するので、丁寧に読んで理解し、解答してください。 【授業】 授業では各回のレポートを解説します。 【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出題します。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 評価は次の観点で行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
事実的な知識のみならず、構造化された概念的な知識の獲得に向かうことや、一定の手順に沿った技能のみならず、変化する状況に応じて主体的に活用できる技能の習熟・熟達に向かい、レポートを作成している。	諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを表現し、レポートを形成している。		知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、計画的にレポートを形成している。		

政治・経済

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	6	1（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
政治・経済(東京書籍)					
学習目標					
政治・経済に対する理解を深め、より実践的な解決策を探究していくことを目指す。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原理 2節 日本国憲法の基本原理	① 放送視聴	①	3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題	② 放送視聴	④
3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題		②	第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治		⑤
第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ		③	第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題		⑥
学習方法					
【レポート】 教科書をよく読むと解答できる設問になっています。 また、本文だけでなく欄外などからも出題するので、丁寧に読んで理解し、解答してください。 【授業】 授業では各回のレポートを解説します。 【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出题します。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 評価は次の観点で行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
事実的な知識のみならず、構造化された概念的知識の獲得に向かうことや、一定の手順に沿った技能のみならず、変化する状況に応じて主体的に活用できる技能の習熟・熟達に向かい、レポートを作成している。	諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを表現し、レポートを形成している。		知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行うなかで、計画的にレポートを形成している。		

数学 I

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	3	9	2(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
改訂版 新数学Ⅰ(東京書籍)					
学習目標					
方程式と不等式, 二次関数, 図形と計量及びデータの分析についての基本的な原理や法則を理解させ, 技能の習熟を図り, それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに, 数学のよさを認識できるようにする。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1章「数と式」 1節 文字と式	① 放送 視聴	①	3章「三角比」 2節 三角比の応用 ・三角形の面積 ・正弦定理 ・余弦定理	② 放送 視聴	⑥
1章「数と式」 2節 実数 3節 方程式と不等式		②	3章「三角比」 2節 三角比の応用 ・鈍角の三角比 ・三角比の相互関係 ・鈍角の三角比の利用		⑦
2章「2次関数」 1節 2次関数とそのグラフ		③			
2章「2次関数」 2節 2次関数の値の変化		④			
3章「三角比」 1節 鋭角の三角比	② 放送 視聴	⑤	4章「データの分析」 1節 データの分析		⑧
			5章「集合と論証」 1節 集合と論証		⑨
学習方法					
【レポート】 レポートの問題は, 教科書の例題や問題から主に出题しています。計算問題は途中の計算式を省略することなく書くことで, 内容の理解が深まります。必ず計算式を残しましょう。					
【授業】 教科書の内容を, レポートの提出期限に合わせて解説します。数学は自学自習ではなかなか理解できない教科です。					
【試験】 前期,後期にそれぞれ1回ずつ実施します。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
事象を数学的に表現し, 処理する仕方や, 推論の方法などの技能を身につけている。また, 基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解し, 基礎的な知識を身につけている。	数学的な見方や考え方を身につけ, 事象を数学的に捉え, 論理的に考察するとともに, 過程を振り返り多面的・発展的に考察し, 表現できる。		数学のよさを認識し, 数学を活用して粘り強く考え, 数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。		

数学Ⅱ

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数		
必修科目	4	12	2(放送視聴)	2		
教科書			学習書・副教材等			
数学Ⅱ Essence(東京書籍)						
学習目標						
複素数と方程式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともにそれらを活用する態度を育てる。						
学習内容及びスクーリング対応回数						
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート	
1章「方程式・式と証明」 1節 多項式・分数式の計算	① 放送 視聴	①	3章「三角関数」 1節 三角関数	② 放送 視聴	⑥	
2節 2次方程式 3節 高次方程式(～2因数定理)		②	2節 加法定理 4章「指数関数と対数関数」		⑦	
3節 高次方程式(3高次方程式～) 4節 式と証明		③	1節 指数関数 2節 対数関数		⑧	
2章「図形と方程式」 1節 座標と直線の方程式		④	5章「微分と積分」 1節 微分係数と導関数		⑨	
2節 円の方程式 3節 軌跡と領域		⑤	2節 導関数の応用		⑩	
			3節 積分		⑪	
					⑫	
学習方法						
【レポート】 レポートの問題は、教科書の例題や問題から主に出題しています。計算問題は途中の計算式を省略することなく書くことで、内容の理解が深まります。必ず計算式を残しましょう。						
【授業】 教科書の内容を、レポートの提出期限に合わせて解説します。数学は自学自習ではなかなか理解できない教科です。						
【試験】 前期、後期にそれぞれ1回ずつ実施します。						
評価方法						
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。レポートの評価は次の観点から行います。						
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
複素数と方程式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分において、基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。また、自称を数学的に表現し、処理する仕方や、推論の方法などの技能を身につけている。	複素数と方程式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分における数学的な見方や考え方を身につけ、自称を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り、多面的・発展的に考察し、表現できる。		数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。			

数学Ⅲ

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	3	9	2(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
数学Ⅲ Standard(東京書籍)					
学習目標					
極限, 微分法及び積分法についての概念や原理・法則を理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数列や関数の値の変化に着目し、極限を考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って表現する能力を養うとともにそれらを活用する態度を育てる。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1章「関数と極限」 1節 関数	① 放送 視聴	①	4章 積分とその応用 1節 不定積分	② 放送 視聴	⑦
2節 数列の極限 3節 関数の極限		②	2節 定積分		⑧
2章「微分」 1節 微分法		③	3節 面積・体積・長さ		⑨
2節 いろいろな関数の導関数	② 放送 視聴	④			
3章「微分法」 1節 関数の増減		⑤			
2節 微分のいろいろな応用		⑥			
学習方法					
【レポート】 レポートの問題は、教科書の例題や問題から主に出題しています。計算問題は途中の計算式を省略することなく書くことで、内容の理解が深まります。必ず計算式を残しましょう。					
【授業】 教科書の内容を、レポートの提出期限に合わせて解説します。数学は自学自習ではなかなか理解できない教科です。					
【試験】 前期、後期にそれぞれ1回ずつ実施します。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
極限, 微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。		数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		

数学A

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	6	1(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
改訂版 新数学A(東京書籍)					
学習目標					
場合の数と確率、整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事実を数学的に考察する能力を養い、数学の良さを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1章「場合の数と確率」 1節 場合の数 ・集合 ・集合の要素の個数 ・個数の数え方 ・和の法則と積の法則 ・順列 ・順列の利用	① 放送 視聴	①	1章「場合の数と確率」 2節 確率	① 放送 視聴	③
			2章「図形の性質」 1節 平面図形の基礎 2節 三角形の性質		④
			2章「図形の性質」 3節 円の性質 4節 空間図形		⑤
1章「場合の数と確率」 1節 場合の数 ・いろいろな順列 ・組み合わせ ・組み合わせの利用		②	3章「数学と人間の活動」 1節 数や位置を表す 2節 数のつくりを調べる 3節 はかる 4節 数学で遊ぶ		⑥
学習方法					
【レポート】 レポートの問題は、教科書の例題や問題から主に出題しています。計算問題は途中の計算式を省略することなく書くことで、内容の理解が深まります。必ず計算式を残しましょう。 【授業】 教科書の内容を、レポートの提出期限に合わせて解説します。数学は自学自習ではなかなか理解できない教科です。 【試験】 前期、後期にそれぞれ1回ずつ実施します。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 評価は次の観点で行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。また、事象を数学的に表現し、処理する仕方や、推論の方法などの技能を身につけている。	数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。		数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。		

数学B

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	6	1(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
数学BEssence(東京書籍)					
学習目標					
数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事実を数学的に考察する能力を養い、数学の良さを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1章「数列」 1節 数列	① 放送 視聴	①			
2節 いろいろな数列		②			
3節 漸化式と数学的帰納法		③			
2章「統計的な推測」 1節 確率分布		④			
2節 統計的な推測		⑤			
3章「数学と社会生活」 1節 数学と社会生活		⑥			
学習方法					
【レポート】 レポートの問題は、教科書の例題や問題から主に出題しています。計算問題は途中の計算式を省略することなく書くことで、内容の理解が深まります。必ず計算式を残しましょう。					
【授業】 教科書の内容を、レポートの提出期限に合わせて解説します。数学は自学自習ではなかなか理解できない教科です。					
【試験】 前期、後期にそれぞれ1回ずつ実施します。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。また、事象を数学的に表現し、処理する仕方や、推論の方法などの技能を身につけている。	数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。		数学のよさを認識し、数学を活用して粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとしている。問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする。		

数学C

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	6	1(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
数学C Standard(東京書籍)					
学習目標					
ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面について基礎的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する能力を養い、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
第1章「ベクトル」 1節 平面上のベクトル	① 放送 視聴	①	第4章「数学的な表現の工夫」 1節 統計グラフに表す 2節 行列に表す 3節 離散グラフに表す	① 放送 視聴	⑥
2節 ベクトル上の応用		②			
3節 空間におけるベクトル		③			
第2章「平面上の曲線」 1節 2次曲線 2節 媒介変数表示と極座標		④			
第3章「複素数平面」 1節 複素数平面		⑤			
2節 図形への応用					
学習方法					
【レポート】 レポートの問題は、教科書の例題や問題から主に出題しています。計算問題は途中の計算式を省略することなく書くことで、内容の理解が深まります。必ず計算式を残しましょう。					
【授業】 教科書の内容を、レポートの提出期限に合わせて解説します。数学は自学自習ではなかなか理解できない教科です。					
【試験】 前期、後期にそれぞれ1回ずつ実施します。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付け	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		

基礎数学

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択科目	3	9	2(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
基礎数学(早稲田学園)					
学習目標					
算数編, 数学・計算編および数学・図形編における基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解させ, 技能の習熟を図り, それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに, 数学のよさを認識できるようにする。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
第1章正負の数	① 放送 視聴	①	第9章比例と反比例 第10章1次関数	② 放送 視聴	⑥
第2章文字と式 第3章式の計算		②			
第4章多項式		③	第11章関数 $y=ax^2$ 第12章確率		⑦
第5章方程式 第6章連立方程式		④			
第7章平方根 第8章2次方程式	② 放送 視聴	⑤	第13章図形の性質 第14章空間図形		⑧
			第15章合同な図形 第16章相似な図形 第17章三平方の定理		⑨
学習方法					
【レポート】 レポートの問題は, 教科書の例題や問題から主に出題しています。計算問題は途中の計算式を省略することなく書くことで, 内容の理解が深まります。必ず計算式を残しましょう。					
【授業】 教科書の内容を, レポートの提出期限に合わせて解説します。数学は自学自習ではなかなか理解できない教科です。					
【試験】 前期,後期にそれぞれ1回ずつ実施します。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 評価は次の観点で行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
算数編, 数学・計算編および数学・図形編における基本的な概念, 原理・法則, 用語・記号などを理解し, 基礎的な知識を身につけている。事象を数学的に表現し, 処理する仕方や, 推論の方法などの技能を身につけている。	算数編, 数学・計算編および数学・図形編における数学的な見方や考え方を身につけ, 事象を数学的に捉え, 論理的に考察するとともに, 過程を振り返り多面的・発展的に考察し, 表現できる。		算数編, 数学・計算編および数学・図形編における考え方に関心をもつとともに, 数学的な見方や考え方のよさを認識し, それらを事象の考察に活用しようとする。		

科学と人間生活

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択必修科目	2	6	4（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
改訂 科学と人間生活（東京書籍）					
学習目標					
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関りについての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察・実験などに関する技術を身につけ、観察・実験などを行うことで人間生活と関連付けて科学的に探求する力を養う。また、自然の事物・現象に進んで関り、科学的に探求しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1編 生命の科学 1章 微生物とその利用	①② 放送視聴	①	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	③④ 放送視聴	
2章 ヒトの生命現象		②	2章 熱の性質とその利用		⑤
2編 物質の科学 1章 衣料と食品		③	4編 宇宙や地球の科学 1章 自然景観と自然災害		
2章 材料とその再利用		④	2章 太陽と地球		⑥
学習方法					
【レポート】 教科書に沿って学習し、内容を理解することができるように、レポートの問題は基礎・基本的なものになっています。 【授業】 授業では、レポートの内容にかかわる重要な法則や概念の説明、例題の解説等をします。各回のレポートに対する授業数が少ないため、ポイントを絞った説明となります。 【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。改めて教科書を調べなおす必要はありませんが、レポートの内容や計算方法を理解してきてください。					
評価方法					
レポートの提出状況やスクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
自然と人間生活との関りおよび科学技術と人間生活との関りについて理解するとともに、科学的に探求するために必要な観察・実験などに関する技能を身につけている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見だし見通しをもって観察・実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に考察し表現しているなど、科学的に探求している。		自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活との関りについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めるとともに、自然の事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。		

物理基礎

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択必修科目	2	6	4（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
改訂 新編物理基礎（東京書籍）					
学習目標					
日常生活や社会との連携を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけ、観察や実験などを行うことで科学的に探求する力を養う。また、物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わることで科学的に探求しようとする態度を養う。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1編 物体の運動とエネルギー 1章 直線運動の世界	①② 放送視聴	①	2章 波	③④ 放送視聴	⑤
2章 力と運動の法則		②	3章 電気		⑥
3章 力学的エネルギー		③	4章 エネルギーとその利用		⑥
2編 さまざまな物理現象とエネルギー 1章 熱		④			
学習方法					
【レポート】 教科書に沿って学習し、内容を理解することができるように、レポートの問題は基礎・基本的なものになっています。					
【授業】 授業では、レポートの内容にかかわる重要な法則や概念の説明、例題の解説等をします。各回のレポートに対する授業数が少ないため、ポイントを絞った説明となります。					
【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。改めて教科書を調べなおす必要はありませんが、レポートの内容や計算方法を理解してきてください。					
評価方法					
レポートの提出状況やスクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動とエネルギーについての観察・実験などを通して、物体の運動とさまざまなエネルギーに関する概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探求するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身につけている。	物体の運動とさまざまなエネルギーについて、問題を見だし見通しをもって観察・実験等を行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探求している。		物体の運動とさまざまなエネルギーに関する事物・現象に主体的に関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。		

物理

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択必修科目	4	12	7(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
物理(東京書籍)					
学習目標					
物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てる。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1編 さまざまな運動 1章 平面内の運動 2章 剛体のつり合い	①②③ 放送視聴	①	3編 電気と磁気 1章 電場と電位	④⑤⑥ ⑦ 放送視聴	⑦
1編 さまざまな運動 3章 運動量 4章 円運動		②	3編 電気と磁気 2章 電流		⑧
1編 さまざまな運動 5章 単振動 6章 万有引力		③	3編 電気と磁気 3章 電流と磁場		⑨
1編 さまざまな運動 7章 気体分子の運動		④	3編 電気と磁気 4章 電磁誘導と電磁波		⑩
2編 波 1章 波の伝わり方 2章 音		⑤	4編 原子 1章 電子と光		⑪
2編 波 3章 光		⑥	4編 原子 2章 原子と原子核		⑫
学習方法					
【レポート】 教科書に沿って学習し、内容を理解することができるように、レポートの問題は基礎、基本的なものが中心となっています。					
【授業】 授業では、レポートの内容にかかわる重要な法則や概念などの説明をしたり、例題の解説等を行います。各回のレポートに対する授業の回数が少ないため、かなりポイントを絞った説明となります。					
【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。改めて教科書を調べ直す必要はありませんが、レポートの内容や計算方法等を理解してきてください。レポートの解答を暗記するだけでは試験問題は解けません。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。様々な運動、波、電気と磁気、原子に関する概念や原理・法則を系統的に理解し、それらを活用できるようにする。	様々な運動、波、電気と磁気、原子に関する概念や原理・法則を系統的に理解し、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。		物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てる。		

化学基礎

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択必修科目	2	6	4（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
改訂 新編化学基礎（東京書籍）					
学習目標					
日常生活や社会との連携を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけ、観察や実験などを行うことで科学的に探求する力を養う。また、物質とその変化に主体的に関わることで科学的に探求しようとする態度を養う。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1編 物質の構成 1章 物質の成分と構成元素	①② 放送視聴	①	2編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式	③④ 放送視聴	④
2章 原子の構造と元素の周期表		②	2章 酸と塩基		⑤
3章 化学結合		③	3章 酸化還元反応		⑥
学習方法					
【レポート】 教科書に沿って学習し、内容を理解することができるように、レポートの問題は基礎・基本的なものになっています。					
【授業】 授業では、レポートの内容にかかわる重要な法則や概念の説明、例題の解説等をします。各回のレポートに対する授業数が少ないため、ポイントを絞った説明となります。					
【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。改めて教科書を調べなおす必要はありませんが、レポートの内容や計算方法を理解してきてください。					
評価方法					
レポートの提出状況やスクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
観察・実験などを通して、化学に関する事物・現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけるとともに、科学的に探求するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	化学に関する事物・現象の中に問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど科学的に探求している。		化学について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。		

化学

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択必修科目	4	12	7(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
化学Vol.1理論編、化学Vol.2物質編(東京書籍)					
学習目標					
日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、化学的な見方や考え方を養う。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
0編 人間生活のなかの化学	①②③ 放送視聴	①	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物	④⑤⑥ ⑦ 放送視聴	⑦
1編 物質の状態 1章 物質の状態 2章 気体の性質		①	4編 無機物質 4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの分離と確認		⑧
1編 物質の状態 3章 溶液の性質 4章 固体の構造		②	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素		⑨
2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光		③	5編 有機化合物 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物		⑩
2編 化学反応とエネルギー 2章 電池と電気分解		④	6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か 2章 天然高分子化合物		⑪
3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ		⑤	6編 高分子化合物 3章 合成高分子化合物		⑫
3編 化学反応の速さと平衡 2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡		⑥	7編 化学が果たす役割		⑫
学習方法					
【レポート】 教科書に沿って学習し、内容を理解することができるように、レポートの問題は基礎、基本的なものが中心となっています。レポートの課題をこなすだけでなく、幅広い知識を身につけ、理解を深めるようにしましょう。					
【授業】 授業では、レポートの内容にかかわる重要な法則の説明や例題の解説等を行います。事前にレポートの問題を解答し、不明な点や疑問点を明確にしておいた方が、授業の内容を理解しやすいと思います。					
【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。改めて教科書を調べ直す必要はありませんが、レポートの内容や計算方法等を理解してきてください。レポートの解答を暗記するだけでは試験問題は解けません。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的な自然観を育成する。	物質の状態と平衡、物質の変化と平衡、無機物質の性質と利用、有機化合物の性質と利用、高分子化合物の性質と利用について、それらを日常生活や社会と関連付けて考察できるようにする。		化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てる。		

生物基礎

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択必修科目	2	6	4（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
改訂 新編生物基礎（東京書籍）					
学習目標					
日常生活や社会との連携を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけ、観察や実験などを行うことで科学的に探求する力を養う。また、生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性	①② 放送視聴	①	3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ	③④ 放送視聴	③
2章 生物とエネルギー		①	2章 免疫のはたらき		④
2編 遺伝子とのはたらき 1章 遺伝情報とDNA		②	4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移		⑤
2章 遺伝情報とタンパク質		②	2章 生態系と生物の多様性		⑥
学習方法					
【レポート】 教科書に沿って学習し、内容を理解することができるように、レポートの問題は基礎・基本的なものになっています。					
【授業】 授業では、レポートの内容にかかわる重要な法則や概念の説明、例題の解説等を行います。各回のレポートに対する授業数が少ないため、ポイントを絞った説明となります。					
【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。改めて教科書を調べなおす必要はありませんが、レポートの内容や計算方法を理解してください。					
評価方法					
レポートの提出状況やスクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
日常生活や社会との連携を図りながら、生物や生物現象についての観察・実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探求するために必要な観察・実験などに関する技能が身につけている。	生物や生物現象について、問題を見だし見通しをもって観察・実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど科学的に探求している。		生物や生物現象に対して主体的に関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。		

生物

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択必修科目	4	12	7(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
生物(東京書籍)					
学習目標					
生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ、それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して、生物や生命現象に対しての興味・関心を高める。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1編 生物の進化 1章 生命の起源と細胞の進化	①②③ 放送視聴	①	4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応	④⑤⑥ ⑦ 放送視聴	⑦
1編 生物の進化 2章 遺伝子の進化と進化のしくみ		①	4編 生物の環境応答 2章 動物の行動		⑧
1編 生物の進化 3章 生物の系統と進化		②	4編 生物の環境応答 3章 植物の環境応答		⑨
2編 生命現象と物質 1章 細胞と物質 2章 代謝とエネルギー		③	5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集		⑩
3編 遺伝情報の発現と発生 1章 遺伝情報とその発現		④	5編 生態と環境 2章 生態系の物質生産と物質環境		⑪
3編 遺伝情報の発現と発生 2章 発生と遺伝子発現		⑤	5編 生態と環境 3章 生態系と人間生活		⑫
3編 遺伝情報の発現と発生 3章 遺伝子を扱う技術		⑥			
学習方法					
【レポート】 教科書に沿って学習し、内容を理解することができるよう、レポートの問題は基礎、基本的なものが中心となっています。レポートの課題をこなすだけでなく、幅広い知識を身につけ、理解を深めるようにしましょう。					
【授業】 授業では、レポートの内容にかかわる重要な法則の説明や例題の解説等を行います。事前にレポートの問題を解答し、不明な点や疑問点を明確にしておいた方が、授業の内容を理解しやすいと思います。					
【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。改めて教科書を調べ直す必要はありませんが、レポートの内容や計算方法等を理解してきてください。レポートの解答を暗記するだけでは試験問題は解けません。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもち、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深める。また、生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について探求し、生物界の多様性と系統を理解し、進化についての考え方を身につける。	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもち、科学的な自然観を育成する。		生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもち、生物学的に探究する能力と態度を育てる。		

体育 1

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	3	4	2	
教科書			学習書・副教材等		
現代高等保健体育(大修館)					
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続できる資質や能力を養う。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1単元 スポーツの発祥と発展 1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ	①② 放送視聴	①	3単元 豊かなスポーツライフの設計 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルに応じたスポーツ		
3 オリンピックとパラリンピックの意義 4 スポーツが経済に及ぼす影響	③④ 放送視聴	②	3 スポーツを推進する取り組み 4 豊かなスポーツライフの創造 体育編 用語解説		
5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境	⑤⑥⑦⑧ 放送視聴	③			
2単元 運動・スポーツの学び方 1 スポーツにおける技術と体力 2 スポーツにおける技術と戦術					
3 技能の上達課程と練習 4 効果的な動きのメカニズム					
5 体カトレーニング 6 運動やスポーツでの安全の確保					
学習方法					
【レポート】 教科書を参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。					
【授業】 各々の時間に競技などを実践する。					
【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。あらためてレポートを見直し、レポートの内容を理解しておきましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
自分が選択した種目の特性やルールを理解し、報告課題に活用することができる。 健康・安全に留意し、活動することができる。	練習やゲームで自分の役割を果たし、協力して活動することができる。		自分に合ったスポーツや運動を生涯にわたって実践できるように取り組もうとしている。		

体育 2

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	3	3	6	2	
教科書			学習書・副教材等		
現代高等保健体育(大修館)					
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続できる資質や能力を養う。その中で、各スポーツの特異的な技術や戦術を理解し、それを安全面を考慮しながら実践すること能力を養う。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1単元 スポーツの発祥と発展 1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ			3単元 豊かなスポーツライフの設計 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルに応じたスポーツ		
3 オリンピックとパラリンピックの意義 4 スポーツが経済に及ぼす影響			3 スポーツを推進する取り組み 4 豊かなスポーツライフの創造 体育編 用語解説		
5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境					
2単元 運動・スポーツの学び方 1 スポーツにおける技術と体力 2 スポーツにおける技術と戦術	①② 放送視聴	①			
3 技能の上達課程と練習 4 効果的な動きのメカニズム	③④⑤⑥ 放送視聴	②			
5 体カトレーニング 6 運動やスポーツでの安全の確保	⑦⑧⑨⑩ 放送視聴	③④⑤			
学習方法					
【レポート】 教科書を参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。					
【授業】 各々の時間に競技などを実践する。					
【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。あらためてレポートを見直し、レポートの内容を理解しておきましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
自分が選択した種目の特性や特異的な技術を理解し、報告課題に活用することができる。 健康・安全に留意し、活動することができる。	練習やゲームで自分の役割を果たし、協力して活動することができる。		自分に合ったスポーツや運動を生涯にわたって実践できるように取り組もうとしている。		

体育3

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	3	3	6	2	
教科書			学習書・副教材等		
現代高等保健体育(大修館)					
学習目標					
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続できる資質や能力を養う。その中で、ライフスタイル・ライフステージに合わせたスポーツのかかわり方について見方・考え方を養う。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1単元 スポーツの発祥と発展 1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ			3単元 豊かなスポーツライフの設計 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルに応じたスポーツ	1 2 3 4 5 放送視聴	①②
3 オリンピックとパラリンピックの意義 4 スポーツが経済に及ぼす影響			3 スポーツを推進する取り組み 4 豊かなスポーツライフの創造 体育編 用語解説	6 7 8 9 10 放送視聴	③④⑤
5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境					
2単元 運動・スポーツの学び方 1 スポーツにおける技術と体力 2 スポーツにおける技術と戦術					
3 技能の上達課程と練習 4 効果的な動きのメカニズム					
5 体カトレーニング 6 運動やスポーツでの安全の確保					
学習方法					
【レポート】 教科書を参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。					
【授業】 各々の時間に競技などを実践する。					
【試験】 試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。あらためてレポートを見直し、レポートの内容を理解しておきましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
自分が選択した種目について様々なライフスタイルやライフステージでのかかわり方を理解し、報告課題に活用することができる。 健康・安全に留意し、活動することができる。	練習やゲームで自分の役割を果たし、協力して活動することができる。		自分に合ったスポーツや運動を生涯にわたって実践できるように取り組もうとしている。		

【（新）保健】

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数		
必修科目	2	6	1	2		
教科書			学習書・副教材等			
現代高等保健体育(大修館)						
学習目標						
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う						
学習内容及びスクーリング対応回数						
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート	
保健編						
1単元 現代社会と健康	① 放送 視聴	①	3単元 生涯を通じる健康	③ 放送 視聴	④	
1 健康の考え方と成り立ち			1 ライフステージと健康			
2 私たちの健康のすがた			2 思春期と健康			
3 生活習慣病の予防と回復			3 性意識と性行動の選択			
4 がんの原因と予防			4 妊娠・出産と健康			
5 がんの治療と回復			5 避妊法と人口妊娠中絶			
6 運動と健康			6 結婚生活と健康			
7 食事と健康			7 中高年期と健康			
8 休養・睡眠と健康			8働くことと健康			
9 喫煙と健康			9 労働災害と健康			
			10 健康な職業生活			
10 飲酒と健康	① 放送 視聴	②	4単元 健康を支える環境づくり	③ 放送 視聴	⑤	
11 薬物乱用と健康			1 大気汚染と健康			
12 精神疾患の特徴			2 水質汚濁、土壌汚染と健康			
13 精神疾患の予防			3 環境と健康にかかわる対策			
14 精神疾患からの回復			4 ごみの処理と上下水道の整備			
15 現代の感染症			5 食品の安全性	④ 放送 視聴	⑥	
16 感染症の予防			6 食品衛生にかかわる活動			
17 性感染症・エイズとその予防			7 保健サービスとその活用			
18 健康に関する意思決定・行動選択			8 医療サービスとその活用			
19 健康に関する環境づくり	9 医療品の制度とその活用					
			10 さまざまな保健活動や社会的対策			
			11 健康に関する環境づくりと社会参加			
2単元 安全な社会生活	② 放送 視聴	③				
1 事故の状況と発生要因						
2 安全な社会の形成						
3 交通における安全						
4 応急手当の意義とその基本						
5 日常的な応急手当						
6 心肺蘇生法						
【レポート】						
教科書を参考に、健康や感染症、応急処置に関する問題を解きながら知識を深める。						
【授業】						
日常生活と関連づけながら健康や感染症、応急処置について知識を深める						
【試験】						
試験にはレポートの学習内容を確認する問題を出します。あらためてレポートを見直し、レポートの内容を理解しておきましょう。						
評価方法						
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います						
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康について、課題の解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表している。		現代社会と健康、生涯を通じる健康、社会生活と健康をについて、ヘルスポロモーションの考えを活かして自らの日常生活で実践しようとしている。			

【音楽Ⅰ】

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	6	4(放送視聴)	2	
教科書			学習書・副教材等		
音楽Ⅰ改訂版 Tutti +（大修館書店）					
学習目標					
芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
【歌唱・鑑賞】 ・歌声を響かせよう ・日本の歌を歌おう ・創作 ・世界の声の音楽 ・世界の楽器の音楽 ・ポピュラー音楽の軌跡 ・コンサートを企画しよう	①② 放送 視聴	①	【鑑賞・器楽】 ・和楽器の演奏を楽しもう（箏・三味線・三線・篠笛） ・日本の伝統音楽の魅力を探ろう・雅楽の魅力を探ろう ・日本音楽史 ・楽典	③④ 放送 視聴	④
【歌唱・楽器】 ・イタリア語の歌を歌おう、ドイツ語の歌を歌おう、英語の歌を歌おう、フランス語の歌を歌おう、アジアの歌を歌おう ・創作 ・Review of Basics①② ・楽典 ・「音楽を形づくっている要素」 ・ギター＆キーボード・コード表		②	【鑑賞】 ・西洋音楽の源流 ・合唱の響きを味わおう ・西洋音楽史、作曲家年表 ・変奏曲・交響曲・オーケストラの魅力を探ろう ・吹奏楽の魅力を探ろう ・楽器音域表・配列表 ・音楽史と史実		⑤
【創作・器楽】 ・リコーダーの演奏を楽しもう ・ギターの演奏を楽しもう ・アンサンブルを楽しもう ・創作 ・コンピューターを活用しよう ・Review of Basics③ ・リコーダー運指表		③	【歌唱・鑑賞】 ・夏の思い出、赤とんぼ ・混声合唱を美しく響かせよう ・発音や発声を意識して歌おう ・アンサンブルを楽しもう ・創作 ・さまざまな時代のピアノ曲を味わおう ・総合芸術の魅力を探ろう ・楽典（【音楽Ⅰ】以外）		⑥
学習方法					
【レポート】 報告課題（レポート）の順に従って、各自が課題のねらい、趣旨を理解して解答する。					
【授業】 各レポートのねらいや、レポート作成のための考え方を説明する。また、レポートの内容に関する曲の鑑賞や、表現活動など、実際の音に触れる機会をもつようにする。					
【試験】 前期、後期にそれぞれ1回ずつ実施する。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
【知】曲想や表現上の効果と音楽構造との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい表現方法の技能を身につけ表している。	音楽の構成要素を知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表現するかについて思いや意図をもっている。		楽曲の特性や特徴を理解し、表現上の効果との関りに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に鑑賞等の学習活動に取り組もうとしている。		

英語コミュニケーションⅠ

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	3	9	5（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
All Aboard ! English Communication I （東京書籍）					
学習目標					
英語を通じて、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）の言語活動を通して情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現できたり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質や能力を育成する。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
過去形 Lesson1 Breakfast around the world 私の朝ごはん	①② 放送視聴		受け身 Lesson6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な浮世絵師	③④⑤ 放送視聴	⑤
進行形 Lesson2 Australia's Cute Quokkas 人なつっこい野生動物		①	比較表現 Lesson7 A Diary of Hope アンネ・フランク		⑥
助動詞：can, will Lesson3 Life with Spade 愛馬とともに		②	現在完了形 Lesson8 A Door to a New Life ロボットカフェ		⑦
to 不定詞 Lesson4 A Miracle Mirror 夢のような絶景		③	名詞を後ろから説明する分詞 Lesson9 Ghosts in the Oceans 海にぐそむゴースト		⑧
動名詞 Lesson5 A dream Engine 博多工業高校 自動車工学科		④	関係代名詞 Lesson10 Pigs from across the Sea 海の向こうからの贈り物		⑨
学習方法					
【レポート】 英語の基礎・基本を教科書を使って学びます。レポートの問題は、教科書を見ればほとんど解けるようになっています。計画的に取り組んでください。 【授業】 授業では、レポートの問題を取り上げて解説します。授業を受ける前にはレポートの問題をやって、問題点など確認しておきましょう。発音練習などは貴重な機会ですので積極的に取り組みましょう。 【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出題します。レポートの内容を復習して受験しましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリング出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割を理解している。外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。		言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		

英語コミュニケーションⅡ

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	4	12	8（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
All Aboard ! English Communication II（東京書籍）					
学習目標					
英語を通じて、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）の言語活動を通して情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現できたり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質や能力を育成する。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
Lesson 1 A Colorful Island ブラーノ島 関係代名詞(what)	①②③④	①	Lesson 6 Seeds for Future Generations 伝統野菜を未来につなぐ 動詞の目的語になるif節	⑤⑥⑦⑧	⑦
Lesson 2 With the Beatles サムのリクエスト 比較表現		②	Lesson 7 Over the Wall アートで世界をつなぐ 関係副詞		⑧
Lesson 3 Wild Men ワイルドマンの世界 itの用法		③	Lesson 8 Inspiration from Nature 自然のデザインに学ぶ 知覚動詞		⑨
Lesson 4 Little Hero ハチドリのしずく 間接疑問文	放送視聴	④	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate 甘いチョコレート之苦い現実 使役動詞	放送視聴	⑩
Lesson 5 Special Makeup in Kabuki 歌舞伎メイクの物語 to不定詞を含む表現		⑤	Lesson 10 Fighting Angel ナイチンゲール 分詞構文		⑪
Word Box 1 Feelings and Emotions Word Box 2 A Day in English Part 1 動詞の形と「時」の関係		⑥	Word Box 4 various Jobs ○○ならいいのに…（仮定法過去）/Bear's Pie Word Box 5 A Day in English Part2		⑫
学習方法					
【レポート】 英語の基礎・基本を教科書を使って学びます。レポートの問題は、教科書を見ればほとんど解けるようになっています。計画的に取り組んでください。					
【授業】 授業では、レポートの問題を取り上げて解説します。授業を受ける前にはレポートの問題をやって、問題点など確認しておきましょう。発音練習などは貴重な機会ですので積極的に取り組みましょう。					
【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出題します。レポートの内容を復習して受験しましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリング出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割を理解している。外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。		言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数				
選択科目	2	6	4（放送視聴）	2				
教科書			学習書・副教材等					
NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅰ（東京書籍）								
学習目標								
英語を通じて、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）の言語活動を通して情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現できたり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質や能力を育成する。								
学習内容及びスクーリング対応回数								
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート			
Unit1 Lesson1 初めての食事 未来表現、可算名詞・不可算名詞、受動態	放送視聴	①	Unit1 Lesson11 家庭でのディスカッション 仮定法	放送視聴	④			
Unit1 Lesson2 道に迷う Could you …? や命令文			Unit1 Lesson12 英字新聞に投稿 仮定法					
Unit1 Lesson3 人物紹介 現在完了形と過去形、to不定詞と動名詞			Unit2 Lesson1 クラスでディベート① to不定詞と動名詞		⑤			
Unit1 Lesson4 体調が悪い 冠詞・人称代名詞、should とhad better		Unit2 Lesson2 クラスでディベート② 否定語の使い方	③④					
Unit1 Lesson5 買い物 現在形と現在進行形、現在完了形と過去形		Unit2 Lesson3 経験談のスピーチ 後置修飾、受動態			⑥			
Unit1 Lesson6 行ってみたい場所 後置修飾、to不定詞と動名詞		Unit2 Lesson4 遊びやスポーツを紹介 現在完了形と過去形						
Unit1 Lesson7 イベントに誘われる 未来表現		Unit2 Lesson5 日本をPR and, but, so						
Unit1 Lesson8 スクールカウンセラーに相談 howやwhy を用いた表現		Unit2 Lesson6 物事の両面を伝える 名詞と無生物主語						
Unit1 Lesson9 お気に入りを紹介 前置修飾、後置修飾		Unit2 Lesson7 読み手を納得させる 分詞構文						
Unit1 Lesson10 待ち合わせに遅刻 使役動詞、to不定詞と動名詞		④			Unit2 Lesson8 読み手を納得させる 名詞と無生物主語			
学習方法								
【レポート】 英語の基礎・基本を教科書を使って学びます。レポートの問題は、教科書を見ればほとんど解けるようになっています。計画的に取り組んでください。								
【授業】 授業では、レポートの問題を取り上げて解説します。授業を受ける前にはレポートの問題をやって、問題点など確認しておきましょう。発音練習などは貴重な機会ですので積極的に取り組みましょう。								
【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出題します。レポートの内容を復習して受験しましょう。								
評価方法								
レポートの提出状況、スクーリング出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。								
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度					
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割を理解している。外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。		言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。					

論理・表現Ⅱ

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数			
選択科目	2	6	4	2			
教科書			学習書・副教材等				
NEW FAVORITE English Logic and Expression II（東京書籍）							
学習目標							
英語を通じて、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）の言語活動を通して情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現できたり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質や能力を育成する。							
学習内容及びスクーリング対応回数							
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート		
Unit1 Lesson 1 友達に報告する	①②③④	①	Unit1 Lesson 11 比較結果のプレゼンテーション	①②③④	③		
Unit1 Lesson 2 日本での登校			Unit1 Lesson 12 就きたい職業				
Unit1 Lesson 3 経験についてのスピーチ			Unit2 Lesson 1 クラスでディベート①		④		
Unit1 Lesson 4 ファンレター			Unit2 Lesson 2 クラスでディベート②				
Unit1 Lesson 5 イベントに誘う		②	Unit2 Lesson 3 クラスでディベート③		⑤		
Unit1 Lesson 6 図書館で資料さがし			Unit2 Lesson 4 調査結果のプレゼンテーション				
Unit1 Lesson 7 翻訳についてのスピーチ			Unit2 Lesson 5 社会問題についてのスピーチ		⑥		
Unit1 Lesson 8 通信販売で返品依頼			Unit2 Lesson 6 仮定して推論する				
Unit1 Lesson 9 タクシーに乗る		③	Unit2 Lesson 7 比較して説明する				
Unit1 Lesson10 友達とディスカッション			Unit 2 Lesson 8 読み手を説得する				
学習方法							
【レポート】 英語の基礎・基本を教科書を使って学びます。レポートの問題は、教科書を見ればほとんど解けるようになっています。計画的に取り組んでください。 【授業】 授業では、レポートの問題を取り上げて解説します。授業を受ける前にはレポートの問題をやって、問題点など確認しておきましょう。発音練習などは貴重な機会ですので積極的に取り組みましょう。 【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出題します。レポートの内容を復習して受験しましょう。							
評価方法							
レポートの提出状況、スクーリング出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。							
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度				
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割を理解している。外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。		言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				

英語実習A

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択科目	2	6	4（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
改訂版 中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく。（学研）					
学習目標					
英語を通じて、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）の言語活動を通して情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現できたり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質や能力を育成する。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
be動詞/一般動詞 Lesson01～Lesson12	①② 放送視聴	①	現在進行形 Lesson38～41	③④ 放送視聴	④
否定文/疑問文 Lesson18～26		②	過去形 Lesson42～46		⑤
疑問詞/複数形 Lesson27～34		③	過去進行形 Lesson47～49		⑥
学習方法					
【レポート】 英語の基礎・基本を教科書を使って学びます。レポートの問題は、教科書を見ればほとんど解けるようになっています。計画的に取り組んでください。 【授業】 授業では、レポートの問題を取り上げて解説します。授業を受ける前にはレポートの問題をやって、問題点など確認しておきましょう。発音練習などは貴重な機会ですので積極的に取り組みましょう。 【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出題します。レポートの内容を復習して受験しましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリング出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割を理解している。外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。		言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		

英語実習B

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択科目	2	6	4（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
改訂版 中学英語をもう一度ひとつひとつわかりやすく。 （学研）					
学習目標					
英語を通じて、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）の言語活動を通して情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現できたり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質や能力を育成する。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
現在進行形/過去進行形 Lesson38~41/48 未来の言い方 Lesson50~54	①② 放送視 聴	①	現在完了形，現在完了進行形 Lesson90~97	③④ 放送視 聴	④
助動詞 Lesson55~63		②	関係代名詞who,which,that Lesson108~111		⑤
不定詞（基礎）（発展） Lesson64~67/98~103 受け身 Lesson86~89 動名詞 Lesson68		③	比較表現 Lesson80~85		⑥
学習方法					
【レポート】 英語の基礎・基本を教科書を使って学びます。レポートの問題は、教科書を見ればほとんど解けるようになっています。計画的に取り組んでください。 【授業】 授業では、レポートの問題を取り上げて解説します。授業を受ける前にはレポートの問題をやって、問題点など確認しておきましょう。発音練習などは貴重な機会ですので積極的に取り組みましょう。 【試験】 レポートの学習内容を確認する問題を出題します。レポートの内容を復習して受験しましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリング出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割を理解している。外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたことや読んだことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。		言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。		

家庭基礎

2026年度					
履修区分	単位数		レポート提出回数	面接指導出席回数	試験回数
必修科目	2		4	4	2
教科書				学習書・副教材等	
家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）					
学習目標					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
第1章生涯を見通す 人生を展望する 目標を持って生きる	①②	①	第6章食生活をつくる 食生活の選択と安全 生涯の健康を見通した食事計画 調理の基礎 食生活の文化と知恵 これからの食生活	③④	③
第2章人生をつくる 人生をつくる 家族・家庭を見つめる これからの家庭生活と社会		①	第7章衣生活をつくる 被服の役割を考える 被服を入手する 被服を管理する 衣生活の文化と知恵 これからの衣生活		③
第3章子どもと共に育つ 命を育む 子どもの育つ力を知る 子どもと関わる 子どもとの触れ合いから学ぶ これからの保育環境		①	第8章住生活をつくる 住生活の変遷と住居の機能 安全で快適な住生活の計画 住生活の文化と知恵 これからの住生活		④
第4章超高齢社会を共に生きる 超高齢・大衆長寿社会を迎えて 高齢期の心身の特徴 これからの超高齢社会		②	第9章経済生活を営む 情報の収集・比較と意思決定 購入・支払いのルールと方法 消費者の権利と責任 生涯の経済生活を見通す これからの経済生活		④
第5章共に生き、共に支える 私たちの生活と福祉 社会保障の考え方 共に生きる		②	第10章持続可能な生活を営む 持続可能な社会を目指して		④
第6章食生活をつくる 食生活の課題について考える 食事と栄養・食品		②	第11章これからの生活を創造する 生活をデザインする		④
学習方法					
【レポート】 教科書に沿った内容になっています。該当のページは指定してありますので、その部分をよく読み、理解した上で解答してください。 【授業】 レポートの内容に沿って授業を進めていきます。レポートの作成に役立ちますので、積極的に出席しましょう。授業中はしっかり話を聞いて、必要な箇所はメモを取りましょう。 【試験】 試験には、レポートの学習内容を確認する問題を出しますので、レポートをよく見直して臨んでください。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 評価は次の観点で行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		

家庭総合

2026年度					
履修区分	単位数		レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数
必修科目	4		8	4(放送視聴)	2
教科書				学習書・副教材等	
家庭総合 自立・共生・創造(東京書籍)					
学習目標					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
第1章生涯を見通す 人生を展望する 目標を持って生きる	①② 放送視聴	①	第7章衣生活をつくる 被服の役割を考える 被服を入手する 被服を管理する 被服を作る 衣生活の文化と知恵 これからの衣生活	③④ 放送視聴	⑥
第2章人生をつくる 人生をつくる 家族・家庭を見つめる これからの家庭生活と社会		①	第8章住生活をつくる 住生活の変遷と住居の機能 安全で快適な住生活の計画 住生活の文化と知恵 これからの住生活		⑦
第3章子どもと共に育つ 命を育む 子どもの育つ力を知る 子どもと関わる 子どもとの触れ合いから学ぶ これからの保育環境		②	第9章経済生活を営む 情報の収集・比較と意思決定 購入・支払いのルールと方法 消費者の権利と責任 生涯の経済生活を見通す 家計をマネジメントする これからの経済生活		⑧
第4章超高齢社会を共に生きる 超高齢・大衆長寿社会を迎えて 高齢期の心身の特徴 高齢者の自立を支える これからの超高齢社会		③	第10章持続可能な生活を営む 持続可能な社会を目指して 一人一人の力で社会を動かす		⑧
第5章共に生き、共に支える 私たちの生活と福祉 社会保障の考え方 共に生きる		③	第11章これからの生活を創造する 生活をデザインする		⑧
第6章食生活をつくる 食生活の課題について考える 食事と栄養・食品 食品の選択と安全		④			
第6章食生活をつくる 生涯の健康を見通した食事計画 調理の基礎 食生活の文化と知恵 これからの食生活		⑤			
学習方法					
【レポート】 教科書に沿った内容になっています。該当のページは指定してありますので、その部分をよく読み、理解した上で解答してください。 【授業】 レポートの内容に沿って授業を進めていきます。レポートの作成に役立ちますので、積極的に出席しましょう。授業中はしっかり話を聞いて、必要な箇所はメモを取りましょう。 【試験】 試験には、レポートの学習内容を確認する問題を出しますので、レポートをよく見直して臨んでください。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況、定期考査の成績を総合して評価します。 評価は次の観点で行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		

情報Ⅰ

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	6	2（放送視聴）	2	
教科書			学習書・副教材等		
新編 情報Ⅰ（東京書籍）					
学習目標					
情報機器や情報通信ネットワークなどを活用して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報社会に積極的に参画するために必要な態度を育てる。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1 章 情報で問題を解決する	放送 視聴 ① 放送 視聴 ②	①			
2 章 情報を伝える		②			
3 章 コンピュータを活用する		③④			
4 章 データを活用する		⑤⑥			
5 章 活動して提案する					
学習方法					
【レポート】 教科書の基本的な事項を確認する問題です。ほとんど教科書の中から出題されます。 教科書をよく読んで解答しましょう。また、漢字もきちんと書くようにしましょう。					
【授業】 授業では、レポートの内容だけではなく、教科書を利用して、ビジネスの諸活動の大切なことがらを解説します。また、実習課題の取り組み方について、丁寧に解説します。					
【試験】 試験問題の大半はレポート課題から出題します。漢字の間違いに気をつけましょう。 返送されてきたレポートをしっかりと復習し、問題を繰り返し解いておきましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
情報を活用するための基礎的・基本的な知識。技能を身につけ、情報の意義や役割を理解し、適切に扱っている。	情報に関する科学的な見方や考え方を活かし、情報モラルを踏まえて適切に判断し表現している。		情報社会に関心をもち、身の回りの問題を解決するために、情報化の進展に主体的に対応しようとする。		

情報Ⅱ

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	6	4	2	
教科書			学習書・副教材等		
新編 情報Ⅱ（東京書籍）					
学習目標					
情報機器や情報通信ネットワークなどを活用して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、問題の発見・解決に向けて新たな価値の創造をもって情報社会に積極的に参画するために必要な態度を育てる。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
1 章 情報社会	①	①			
2 章 コンテンツ	②	②			
3 章 データサイエンス	③	③④			
4 章 情報システム	④	⑤⑥			
学習方法					
【レポート】 教科書の基本的な事項を確認する問題です。ほとんど教科書の中から出題されます。 教科書をよく読んで解答しましょう。					
【授業】 授業では、レポートの内容だけではなく、教科書を利用して、ビジネスの諸活動の大切なことがらを解説します。また、実習課題の取り組み方について、丁寧に解説します。					
【試験】 試験問題の大半はレポート課題から出題します。 返送されてきたレポートをしっかりと復習し、問題を繰り返し解いておきましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況,スクーリングの出席状況,定期考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
情報を活用するための基礎的・基本的な知識。技能を身につけ、情報の意義や役割を理解し、適切に扱っている。	情報に関する科学的な見方や考え方を活かし、情報モラルを踏まえて適切に判断し表現している。		情報社会に関心をもち、身の回りの問題を解決するために、情報化の進展に主体的に対応しようとする。		

【ソーシャル・スキル】

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数			
必修科目	2	6	2	2			
教科書			学習書・副教材等				
楽しく学べるマナーの基本（教育図書）			なし				
学習目標							
ビジネスのマナーや基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、自己責任や社会貢献の意識を育み、経済社会に適切に対応する心構えと態度を育てる							
学習内容及びスクーリング対応回数							
単元		面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート	
第1章	好感度アップのポイント 身だしなみ・敬語・挨拶など	①	①	第4章	書き方のマナー 手紙・時候の挨拶・ビジネス文書など	②	④
第2章	外出先でのマナー 電車・訪問時など			第5章	人生の節目のしきたり 贈り物・葬儀・服装など		⑤
第3章	食事のマナー 各料理の基本・食べ方など		②	第7章	日本の年中行事 1月～12月	⑥	
第6章	社会人としてのマナー 面接・挨拶・やり取りなど		③	第8章	国際人としてのマナー 日本の文化・マナー・英語表現など		
学習方法							
【レポート】 教科書の基礎的・基本的な事項を確認する問題です。教科書の中から出題されるので、教科書をよく読んで解答しましょう。また、語句を入力して解答する問題は、漢字や数字なども正確に入力するようにしましょう。							
【授業】 授業では、レポートの内容だけでなく、教科書を利用してビジネスの諸活動の大切な事からを解説します。また、実習課題の取り組み方について、丁寧に解説します。							
【期末考査】 試験問題の多くはレポートから出題します。レポートをしっかりと復習し、問題を繰り返し解いておきましょう。また、語句を入力して解答する問題は、漢字や数字なども正確に入力するようにしましょう。							
評価方法							
レポートの提出状況・スクーリングの出席状況・期末考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
ビジネスマナーの各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの意義や役割を理解している。また、ビジネスの諸活動を合理的に計算し、その技術を適切に活用している。		ビジネスの諸活動に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断する能力を身に付けている。		ビジネスの諸活動に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。			

【ソーシャル・アクティビティ】

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	2	2	0	
教科書			学習書・副教材等		
なし			なし		
学習目標					
体験する内容ごとに学習目標が設定される。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
活動は全4回で、それぞれの体験内容を通して学んだことや感想、印象に残ったものとその理由を詳細にまとめていく。	①②	①			
		②			
		③			
		④			
学習方法					
【レポート】 活動内容の詳細を記載しましょう。 【授業】 授業は体験学習が中心となります。内容は多岐にわたるので、活動ごとに目標や詳細を解説します。また、実習課題の取り組み方について、丁寧に解説します。					
評価方法					
レポートの提出状況・スクーリングの出席状況を総合して評価します。 レポートの評価は以下の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
それぞれの活動に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、意義や役割を理解し、合理的に計算し、その技術を適切に活用している。	それぞれの活動に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、それぞれの活動に携わる者として適切に判断する能力を身に付けている。		それぞれの活動に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。		

【ネットモラル】

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	2	6	2	2	
教科書			学習書・副教材等		
インターネット社会を生きるための情報倫理 改訂版（実教出版）			なし		
学習目標					
情報機器や情報通信ネットワークなどを活用して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的・基本的な知識と技術を習得させるとともに、情報社会に積極的に参画するために必要な態度を育てる。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元		面接指導	レポート	単元	面接指導 レポート
第1章	情報と情報社会	①	①	第4章 情報社会における生活 身近な生活・社会生活	② ④
第2章	個人情報と知的財産		②	第4章 情報社会における生活 ネット社会におけるトラブルや犯罪	
第3章	ネットにおけるコミュニケーションとマナー		③	第5章 情報セキュリティと ネット被害 情報セキュリティ	
				第5章 情報セキュリティと ネット被害 被害・セキュリティ情報	⑥
学習方法					
【レポート】 教科書の基礎的・基本的な事項を確認する問題です。教科書の中から出題されますので、教科書をよく読んで解答しましょう。また、文章を抜き出して解答する問題は、漢字や数字なども正確に入力するようにしましょう。					
【授業】 授業では、レポートの内容だけでなく、教科書を利用してネットの利用等の大切な事がらを解説します。また、実習課題の取り組み方について丁寧に解説します。					
【期末考査】 試験問題の大半はレポートから出題します。レポートをしっかりと復習し、問題を繰り返し解いておきましょう。また、文章を抜き出して解答する問題は、漢字や数字なども正確に入力するようにしましょう。					
評価方法					
レポートの提出状況・スクーリングの出席状況・期末考査の成績を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
情報を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、情報の意義や役割を理解している。情報を活用するための基礎的・基本的な技術を身に付け、情報を適切に扱っている。	情報に関する科学的な見方や考え方を活かし、情報モラルを踏まえて適切に判断し表現している。		情報社会に関心を持ち、身の回りの問題を解決するために、情報化の進展に主体的に対応しようとしている。		

ボランティア活動

2026年度

2020年度		履修区分		単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数		試験回数	
		選択必修科目		2	2	2		0	
		教科書				学習書・副教材等			
		ボランティア活動(早稲田学園)							
学習目標									
ボランティアのなりたちやその種類や活動団体について学びながら、自分自身で行うことができる身のまわりのボランティア活動について知り、ボランティア精神を身につける。									
学習内容及びスクーリング対応回数									
単元		面接指導		レポート	単元		面接指導		レポート
Ⅰ ボランティアって何だろう？ (1)ボランティア意識の高まり		①		①	(2)各国のボランティア事情		②		②
(2)ボランティアの定義				①	Ⅳ ボランティアをやってみよう！ (1)ボランティアの始め方				②
(3)ボランティアの基本精神				①	(2)身近なボランティア活動				②
(4)ボランティア組織				①	(3)ボランティアをする上での注意点				②
Ⅱ ボランティアの歴史 (1)世界のボランティアの歴史				①					
(2)日本のボランティアの歴史		①							
学習方法									
【レポート】 教科書をよく読むと解答できる設問になっています。また、本文だけでなく欄外などからも出題するので、丁寧に読んで理解し、解答してください。									
【授業】 授業では各回のレポートを解説します。									
【試験】 試験はありません。									
評価方法									
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。									
知識・技能		思考・判断・表現		資料活用の技能		主体的に学習に取り組む態度			
実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的(協同的)に課題の解決に取り組む、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている。		実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方をを用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している。		自ら課題を設定し、資料を活用しながら自主的に解決することできる。		学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けている探究することの意義や価値を理解している。			

環境を考える

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択必修科目	2	2	2	0	
教科書		学習書・副教材等			
環境を考える(早稲田学園)					
学習目標					
私たちを取り巻く環境に起こっている問題の「現状」「原因」「対策」について、地球全体・世界・日本国内の視点で学び、環境問題の基本的な知識を身につける。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
I 地球規模の環境問題 1 地球温暖化	①	①	II 国内の環境問題 1 大気汚染	②	②
2 オゾン層の破壊		①	2 ヒートアイランド現象		②
3 酸性雨		①	3 化学物質の影響		②
4 森林破壊		①	III 日本にとって深刻な問題 1 エネルギー・資源問題		②
5 生物の絶滅		①	2 ゴミ問題		②
6 海洋汚染		①	3 食糧問題		②
7 SDGs(持続可能な開発目標)		①	4 東日本大震災からの復興		②
学習方法					
【レポート】 教科書をよく読むと解答できる設問になっています。また、本文だけでなく欄外などからも出題するので、丁寧に読んで理解し、解答してください。					
【授業】 授業では各回のレポートを解説します。					
【試験】 試験はありません。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現		資料活用の技能		主体的に学習に取り組む態度
実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的(協同的)に課題の解決に取り組む、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている。	実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方をを用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している。		自ら課題を設定し、資料を活用しながら自主的に解決することできる。		学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けている探究することの意義や価値を理解している。

課題を見つける

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
選択必修科目	2	2	2	0	
教科書		学習書・副教材等			
課題探究へのアプローチ 問いづくりトレーニング(東京書籍)					
学習目標					
自己の在り方生き方を考えながら、加速度的に変化していく社会の課題をよりよく発見し、解決していく力を身につける。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	レポート	単元	面接指導	レポート
自然と共生する社会を実現するためには？	①	①	持続可能な生産・消費を実現するためには？	②	②
みんなが衛生的な水を手に入れるためには？	①	①	みんなが必要な食料を手に入れるためには？	②	②
			みんなが暮らしやすい社会を作るには？	②	②
学習方法					
【レポート】 教科書を使うことで、課題の内容が理解できます。丁寧に動画視聴を行い知識を身につけましょう。質問内容をよく読み、自分の意見を述べましょう。					
【授業】 授業では各回のレポートを解説します。					
【試験】 試験はありません。					
評価方法					
レポートの提出状況、スクーリングの出席状況を総合して評価します。 レポートの評価は次の観点から行います。					
知識・技能	思考・判断・表現	資料活用	主体的に学習に取り組む態度		
実社会や実生活の中から問いを見出し、主体的・協働的(協同的)に課題の解決に取り組み、学習したことを自己の生き方に生かし、主体的にさらに高次の課題に取り組もうとしている。	実社会や実生活の中から問いを見出し、探究的な見方・考え方をを用いて、自分で課題を立て、情報を集め、整理してまとめ、発表している。	自ら課題を設定し、資料を活用しながら自主的に解決することできる。	学習課題に関する概念的知識を獲得し、よりよい課題解決のために必要な知識や技能を身に付けている探究することの意義や価値を理解している。		

特別活動

2026年度

履修区分	単位数	レポート提出回数	面接指導出席時数	試験回数	
必修科目	0	0	4（放送視聴）	0	
教科書			学習書・副教材等		
特になし			特になし		
学習目標					
望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。					
学習内容及びスクーリング対応回数					
単元	面接指導	課題	単元	面接指導	課題
4月 学校行事（始業式 入学式） ホームルーム活動（二者面談 健康診断） 生徒会活動 クラブ活動	①② 放送 視聴	課題 ①②	10月 学校行事（後期始業 修学旅行 集中体育 校外スクーリング スクーリング） ホームルーム活動（三者面談 通信制相談日） 生徒会活動 クラブ活動	③④ 放送 視聴	課題 ③④
5月 学校行事（新入生歓迎会 校外スクーリング スクーリング） ホームルーム活動（通信制相談日 歯科検診） 生徒会活動 クラブ活動			11月 学校行事（スクーリング 文化祭） ホームルーム活動（通信制相談日） 生徒会活動 クラブ活動		
6月 学校行事（集中体育 進路相談会 スクーリング） ホームルーム活動（三者面談 通信制相談日） 生徒会活動 クラブ活動			12月 学校行事（終講式 探究活動発表会 スクーリング 校外スクーリング） ホームルーム活動（クラス懇談会 通信制相談日） 生徒会活動 クラブ活動		
7月 学校行事（終講式 校外スクーリング スクーリング 進路講話） ホームルーム活動（二者面談 クラス懇談会 通信制相談日） 生徒会活動 クラブ活動			1月 学校行事（始講式） ホームルーム活動（通信制相談日） 生徒会活動 クラブ活動		
8月・9月 学校行事（始講式 eスポーツ大会 前期終業） ホームルーム活動（通信制相談日） 生徒会活動 クラブ活動			2月・3月 学校行事（修了式 卒業証書授与式 三送会） ホームルーム活動（二者面談 進路相談会 通信制相談日） 生徒会活動 クラブ活動		
学習方法					
○ホームルーム活動においては、学校における生徒の基礎的な生活集団として編成したホームルームを単位として、ホームルーム生活の充実と向上を図り、生徒が当面する諸課題への対応や健全な生活態度の育成に資する活動を行うこと。					
○生徒会活動においては、学校の全生徒をもって組織する生徒会において、学校生活の充実や改善向上を図る活動、生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動及び学校行事への協力に関する活動などを行うこと。					
○クラブ活動においては、原則として学年次やホームルームの所属を離れ、共通の興味や関心をもつ生徒をもって組織するクラブにおいて、全生徒が文化的、体育的、生産的又は奉仕的な活動のいずれかの活動を行うこと。					
○学校行事においては、全校若しくは学年次又はそれらに準ずる集団を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うこと。					
評価方法					
知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
様々な望ましい集団活動を通して身に付けたことを生かし、自主的・実践的によりよい人間関係を構築しようとしたり、よりよい集団生活や社会を形成しようとしたり、人間としての在り方生き方についての考えを深め自己の実現を図ろうとしている。	所属する様々な集団や自己の生活上の問題を見だし、その解決の為に話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりするために、思考・判断・表現している。		よりよい集団活動に向けた実践をする上で必要となる知識や技能を身に付けるとともに、多様な他者との様々な集団活動の意義や役割、価値を理解している。		